

2024年(令和6年)

第69号

(3月15日)



発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 澤村悦玄
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

教団創立 86 周年記念式典 ～自身の信仰を見つめ直す機会～

教団創立 86 周年記念式典が 3 月 5 日、京都教会で行われ、法座席には多くの会員が参集し創立を祝うことが出来ました。本部のインターネット配信も併用しながらハイブリッドでの開催となりました。



松阪教会 及田 恵子
 滋賀教会 小山 かよこ
 京都教会 鮫島 史江
 舞鶴教会 村田 高子
 大阪教会 久保 昌代
 豊後教会 松葉 親一郎



式典は読経供養、会員特別表彰、お祝いのメッセージ、花束贈呈と続き、東教会長がお言葉を述べました。会員特別表彰では本部配信の佼成ウインドオーケストラの演奏をバックに、スクリーンに名前が表れると大きな拍手が沸き起こりました。お祝いメッセージ、花束贈呈で長年の功労に感謝の意を伝えました。

また東教会長はお言葉の中で、創立の日に2つのことを伝えたいとし、「1つ目は開祖さま・脇祖さま、そして会長先生の思いや願いを確認すること」と述べました。そして、ウクライナやガザで戦争・紛争がある中で、世界平和実現のために菩薩を生み出していくことが大切だと述べました。

2つ目として、「教団の創立を自分事にしていくこと。教団の歩みは会員一人ひとりの菩薩行によって支えられている」としながら、「教団の歴史を知るのは大事だが、自分は何故お釈迦さまを信じるのか、開祖さまの教えを信じるのかを見つめ直す機会」だと示しました。「そのために今回、啓白文をお渡しした次第で、自宅でのご供養の際、『仏弟子～』の後に自身の名前を読み上げて読誦させて頂きたい」と語り、菩薩行実践を促されました。

日中韓仏教友好交流会議 ～令和5年度総会を開催～

日中韓仏教友好交流会議の令和5年度総会が3月7日、京都教会普門館で行われました。5日の教団創立86周年記念式典で祝辞を述べられた三千院門跡門主の小堀光實師も駆けつけられ、和やかな雰囲気の中、会議が進められました。何度か準備会議を京都教会普門館で重ね、10月末の日本大会を迎える予定になっています。昨年大会の様子は佼成デジタルでご覧頂けます。
<https://shimbun.kosei-shuppan.co.jp/news/66197/>



昨年様子は下記QRコードからもご覧下さい。



京都教会ビデオレター3月号 配信中 ～東教会長発～

ビデオレター3月号が京都教会のホームページで公開されています。パスワードは各支部長にご確認下さい。
<https://rkk-kyoto.jp/archive1/20240301>



左記のQRコードをスマートフォンで読んで、ご覧頂くことも出来ます。地区単位、各家庭においても視聴し、1ヶ月の修行目標とさせて頂きましょう。

令和6年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。京都教会のホームページもご覧下さい。
<https://rkk-kyoto.jp/> (右のQRコードからご覧頂けます)



深草墓園春季慰霊法要 ～京都キリスト教協議会が運営の奉仕～

令和6年京都市深草墓園春季慰霊法要が3月9日に行われ、東教会長、渉外部副部長はじめ、事務局スタッフが参加しました。



1 部は市主催の深草墓園春季式典として開催され、松井京都市長が式辞、市会議長が弔辞を述べられました。その後、遺族代表の弔辞と献花があり、閉式となりました。

2 部は深草墓園春季召天者記念式として開催され、持ち回りとなった京都キリスト教協議会が運営の奉仕をされました。讃美歌の斉唱や聖書の説教などが行われ厳粛な中にも、心温まる雰囲気となりました。最後に参列者が焼香を行ない、御霊の安らかな眠りを祈りました。



第35回全国車いす駅伝競走大会ボランティア ～青年部が運営を支える～

全国車いす駅伝競走大会が3月10日に行われ、全国から集まった選手が都大路を駆け抜けました。その大会の運営を陰で支えるユース21 京都に加盟している京都教会青年部は、前日の9日から受け入れボランティアとして2日間でのべ24名が参加しました。



9日は自家用車で上洛する選手を宝ヶ池駐車場で出迎えることが、主な役割となりました。

10日は午前には西京極中央広場で選手荷物などの受け入れ、午後から再び宝ヶ池駐車場に移動し、大会後の選手団の降車補助などを行ないました。両日とも雪まじりの天気の中でしたが、選手と笑顔でふれあうことが出来ました。

参加した青年部員から次のような感想が寄せられました。

- はじめての人もそうじゃない人も人様のために頑張ってたのが素晴らしかった。
- 未会員の友達が来てくれて、誰よりも率先してくれていたのが嬉しかった。
- 今回初めての青年さんがこんな声掛けをしたほうがいいですかね？って言いながらすぐに実践してたのがよかった！

- 初めて来たけれど、人見知りの私が皆さんの目を見て話すことが多かった。アットホームな感じが良かった。
- 選手の方から2日間お疲れ様でしたって言っていただいて、ボランティアしてよかったって思えた。
- 初めての参加だった。前はコロナで開催されず…。豚汁も間に待ってる時間も楽しかった。
- 初めての参加で、ボランティアしたっていう感覚がないんですが、みんなでめちゃくちゃ笑えて楽しかった。
- 普段使わない心を使ったんかなって思う。どうしたらいいかなとか何ができるかなって脳を使うことも大事やと思う。
- 大阪の選手の方と話したら、レース中めっちゃ寒かったと…。僕は1時間で帰れるけど、遠くから来られる人は、もう1日泊まって休んで帰られる人もいると思うって聞いた。それぐらい気持ちを込めて参加されてるんだなって思えた。
- この2日間、どうしたらいいかを色々考えて活動してみた。色々楽しかった。
- 毎年毎年声掛けしてもらって、もうそろそろ出ないと思ってる…。ボランティアってことをあまりしたような気もしないけど、皆さん自分でされる姿を見てすごいなあって感じた。日頃見れない景色を見れた。
- 今年は若い男子といっしょにできて楽しかった。またみんなで頑張りたい。